

80歳になってもなおエベレスト登頂を試み、自身3度目の登頂成功を果たした三浦雄一郎氏。史上最高齢で挑戦したエベレスト登頂を、登山隊が撮影した100枚を超える写真で辿ります。

三浦氏は登山家・アドベンチャースキーヤー・冒険家であり、これまで前人未踏の記録に挑戦し続けてきました。

1966年の富士山直滑降はあまりにも有名で、パラシュートを背に滑る姿は映画にも取り上げられ、万人の目に鮮烈に焼きついています。その後もエベレストでのスキー滑降、世界七大陸最高峰のスキー滑降など、さまざまな挑戦を成し遂げました。

また三浦氏は、全国に1万人の生徒がいる広域通信制高校 クラーク記念国際高等学校の校長であり、行動する知性人として国際的に活躍しています。

このたびの展覧会では、2013年に挑戦したエベレスト登頂の軌跡を写真で追い、壮大なドラマを振り返ります。圧倒的なスケール感と、8,848メートルの山頂に肉薄した迫力ある展望を感じ取っていただけることと思います。

あわせて、3度のエベレスト登頂を支えた三浦家の方々や南砺市福光とのゆかりもご紹介します。

開会式・記念講演会

- 開会式 日時 平成27年5月30日(土) 9時00分～
場所 南砺市立福光美術館 ロビー
- 記念講演会 日時 平成27年5月30日(土) 10時00分～
場所 南砺市立福光美術館 ロビー

■講師 **三浦雄一郎氏**
■演題 **「希望の軌跡 80歳エベレスト登頂」**

————— ギャラリートーク(展覧会解説) —————

開催日 6月7日(日)、6月21日(日)、7月5日(日)、7月19日(日)
開催時間 14時～

三浦雄一郎氏 略歴

- 1932年 10月12日青森県青森市に生れる。
- 1956年 北海道大学獣医学部卒業。同大獣医学部薬理学教室助手就任。
福光町の「波多製作所」が、技術顧問として三浦敬三・雄一郎親子を招聘、1970年頃まで度々福光を訪れる。
- 1962年 30歳でアメリカ世界プロスキー選手権参戦。
- 1963年 猪苗代で自身初のスキー学校開設。
後年、スノードルフィンスキースクールとなる。
- 1964年 イタリア・キロメートルランセに日本人として初参戦。
時速172.084kmの世界新記録樹立。
- 1966年 34歳で富士山直滑降。スキーで初めてパラシュートブレーキを使用。
- 1968年 **雄一郎・妻 朋子・長女 恵美里・長男 雄大、福光で約1年間居住。**
- 1970年 37歳、エベレストで世界初8,100m地点からのスキー滑降後、サウスコルから直滑降。
- 1974年 親子3代でヒマラヤ遠征。
- 1985年 世界初の七大陸最高峰からのスキー滑降を達成。
- 2003年 70歳でエベレスト(8,848m)に次男豪太とともに登頂。
当時の最高年齢登頂記録および日本人親子同時登頂記録を樹立。
- 2008年 75歳で2度目のエベレスト登頂。
- 2009年 スキー中に骨盤と大腿骨付け根骨折。
- 2013年 80歳で3度目のエベレスト登頂(ギネス最高年齢登頂世界記録認定)。
2度目の親子同時登頂。

三浦家と福光には、意外なつながりがあった。



若き日の三浦敬三氏・雄一郎氏と
福光「波多製作所」関係者(加藤氏・池田氏)
立山にて